



# みなみっ子

2月の生活目標：「健康に気をつけよう」

NO. 24

四万十市立中村南小学校 (TEL:34-7400)

豊かな心を育てる



心きらり (道徳教育) 参観日



3日(金)の“心きらり(道徳教育)参観日”には、各学級の道徳の時間の授業公開と全校集会活動に、多数の保護者や地域の皆様に、ご参加をいただきました。ありがとうございました。



これまでもお知らせしているように、本校は、昨年度から3年間、高知県教育委員会「道徳教育重点推進校事業」指定校として、『自己をみつめ 関わりながらきらり輝く心をもつ子どもの育成～道徳授業と道徳的実践の指導の充実を通して～』を研究テーマに、全教職員で道徳教育の研究実践に取り組んでいます。

さて、道徳授業の方はどうお感じになられたでしょうか。全学年一斉の道徳授業の公開は今年で4年目となりました。皆さんからいただいたアンケートからは、ご参観下さった道徳授業について、次のような感想が寄せられました。



○自分の意見をはっきりと言える子には、とても感心しました。

大人なんだなあと感じる意見もあって、おどろきました。

○なかなか自分から発表できないお友達を、クラスみんなが、せかすことなく

「がんばれ！」と最後まで待たせたことこそ、本当の「思いやり」だと感動しました。

○宿題や黙ることなどで、つい怒ることが多くなっていたこの頃ですが、赤ちゃんの頃を改めて思い返すことができ、もう少し優しくなろうと反省しました。あんなに小さかった手、ミルクしか飲めなかった赤ちゃんがこんなにも育ってくれたことに感謝です。

○気になっていたこと(物の大切さ)だったので、よかったです。本人もいろいろと考えていたようなので、これから物を大事にするこの意味を、家庭でも教えていきやすいです。子どもへのアプローチの仕方、ひきつけ方等参考にさせていただきます。

○家では叱ってばかり…が多いことを改めて痛感。

先生のように前向きな声かけ!! 気掛けていきたいです。

○子どもに優しい気持ちを持ってほしいと伝える時、

親も優しい気持ちで接することが大事だなと感じました。

○子ども達が道徳の授業を通して、いろいろな気持ちを感じ、

心をみがいていくことは大切だと思います。ふだんの生活の中でも、こういった道徳性を感じられるような関わりができれば…と思いました。

○親が思っている以上に、道徳について、子ども達は関心をもっているんだと思いました。親が決めつけるのではなく、幅広く話題を取り入れて話をするべきですね。



道徳の時間は、資料（教材）や『心のノート』（文部科学省）を読み合っ、みんなで思いや考えを出し合いながら、人間として生きていくうえで大切にしたい心情や態度、必要な判断力や意欲を豊かに育てていく時間です。

今回の1～6年までの道徳授業では、生命や健康の大切さ・ありがたさ、物や金銭・人や動植物を大切に作る心や態度、働くことや努力することのねうち、ふるさとを愛する心などについて、発達段階に応じて授業が展開されていました。お父さんやお母さん、家族の皆さんが観ていることもあってか、ふだんの道徳授業に比べると、やや雰囲気は硬く、発言も少なかつたように見受けられ、少し残念でしたが、自分の思いや考えを言葉で表現できる子は、確実に増えてきています。

資料（教材）に描かれている世界や、先生や友達の話から学び得た人の生き方・考え方を、将来出会うであろうさまざまな場面において、言動や態度、真心として表現していくところに、道徳の時間のねうちがあります。道徳の時間は、子どもの心にある“心の貯金箱”に、将来生きていくための貯金を一つ一つしている時間、一人ひとりの人生の畑に“心の種”を一つずつまいている時間でもあります。

続く6時間目は、昨年度から始めた「心きらり作文発表会」（学年代表発表者とテーマは下記参照）と、3年目となるグループ・エンカウターの手法を使って、心を解放し、人と人がつながる心や態度を育てる全校集会でした。

- |    |    |    |                    |
|----|----|----|--------------------|
| 1年 | 秋田 | さん | 「わたしにできること」        |
| 2年 | 中島 | さん | 「お母さん 大好き」         |
| 3年 | 森岡 | さん | 「友だちについて」          |
| 4年 | 馬場 | さん | 「私が一番『ありがとう』といたい人」 |
| 5年 | 山本 | さん | 「いっしょにいと楽しい友達」     |
| 6年 | 中野 | くん | 「頂上はすぐそこに」         |



全校集会については、下記のようなご感想やご意見をいただきました。

- 「涙そうそう」全校児童のきれいな歌声が体育館に響いていましたね。
- 作文発表は、とても感動しました。家族の大切さ、友達の大切さを、これからも子ども達に、大人が伝えていかなければいけないんだと感じました。
- 昨年も思いましたが、作文には感心、感動させられます。1年生は小さくてかわいいと思ってしまうのですが、とても思いやりにあふれ、しっかりとした考えをもっていて、驚かされます。1年生から6年生まで心が温かくなりました。
- 胸を打たれる4年生の作文、しっかりお手伝いをして家族の温もりを感じた1年生の作文、授業を通して自分を見つめ直し、今後どうしたいか考えた6年生の作文、私も、いろいろなことを考え、反省したり、今後の子育ての中で参考にしようと思ったり、良い時間を過ごさせてもらいました。
- エンカウターでは、普段ふれあうことのない異学年の児童や保護者と手を取り、楽しい時間を過ごせてよかったです。
- 子ども達が嬉しそうに異学年と交流していて、いいなあと思いました。
- エンカウターでは、言葉は交わさなくても目と目で合図して気持ちが伝わるんだなあと思いました。これから先、震災にあった時、知らない人同士助け合っていかなければなりません。そんな時にも絶対に役に立つエンカウターだったと思います。

